

対馬一の米どころで、 「稲刈り・餅つき体験」



その後、子ども達は餅つきを体験。杵きねの重さにふらつきながらも、とても楽しそうに餅をつきました。市農業委員会によると、今年の対馬の稲の作柄は、台風の影響も少なく平年並みとのこと。

収穫の喜びを体験し農業に関心を持ってもらおうと市の農業委員会・認定農業者協議会・JA対馬が主催した「稲刈り・餅つき体験」が10月22日、上県町佐護で開かれ、市内各地から家族連れなど約30名が参加しました。

刈り取る稲は、今回同様参加者を募り、6月に実施した田植え体験で植えた稲です。子どもたちは保護らと一緒に約0.2haの田んぼに入り、鎌を上手に使って次々に稲を刈り取った後、千歯という昔ながらの農具を使って脱穀も体験しました。

上県町飼所から参加した八坂一輝くん（10歳）は、「作業はとても楽しかった。将来は対馬で農業をしてみたいです」と関心を持った様子でした。

万松院まつり

10月15日、旧対馬藩主「宗家」の菩提寺「万松院」で、8回目の開催となる万松院まつり（万松院史跡保存会主催）が行われました。

辺りが薄暗くなった午後6時、墓地内にある約350個の灯籠すべてに火が灯され、訪れた市民は貸し出されたちょうちんを手に、百雁木と呼ばれる自然石の石段を登って歴代の藩主らの墓をお参りしていました。

秋の夜、ほのかな灯りのともる夜の万松院での散策を楽しんでいました。



長崎県精神障害者 ソフトボール大会で優勝！

地域活動所
「さわやか」と「きらり」の合同チーム

9月11日、諫早市で開催された長崎県精神障害者ソフトボール大会で、上県町佐須奈の精神障害者地域活動所「さわやか」（佐伯繁所長）と巖原町中村の「きらり」（築城洋二所長）の通所者で出場した対馬チームが見事初優勝しました。

同大会には県下の病院や地域活動施設から9チームが出場。対馬チームは2試合を戦い1試合目は20対1、2試合目も17対4と大量得点で勝利し、大会2回目の出場で栄冠を勝ち取りました。

両試合でピッチャーを務めた小宮政信さん（52歳・佐護）は、「守備が固かったので安心して投げられました。メンバーがよく打ってくれたのが勝因です」とチームメイトを讃え、「勝った日は夜も眠れないほど嬉しかったです」と喜びを語りました。

写真 = 市長・地域活動所スタッフと対馬チームのみなさん。

